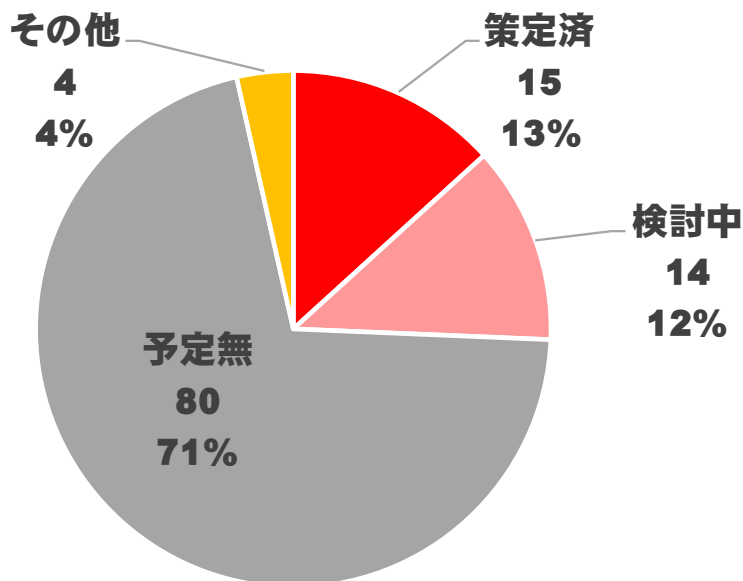




# H29～H30年度BCP普及研修会・策定講習会 参加者への追跡聞き取り調査【令和元年5月実施】

平成29～30年度にかけて道内7か所で開催したBCP普及研修会及び策定講習会の参加者へ、追跡の聞き取り調査を実施。

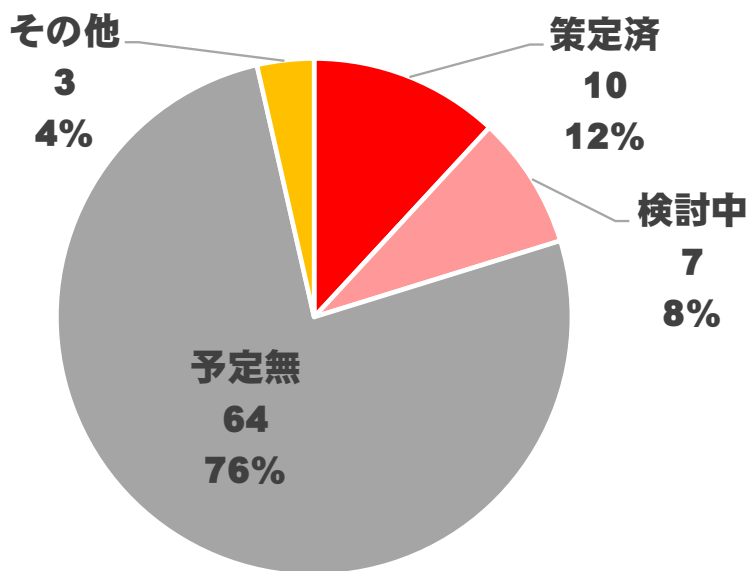


## ■ 聞き取り調査回答数 (n=113)

組合 84 (74%)

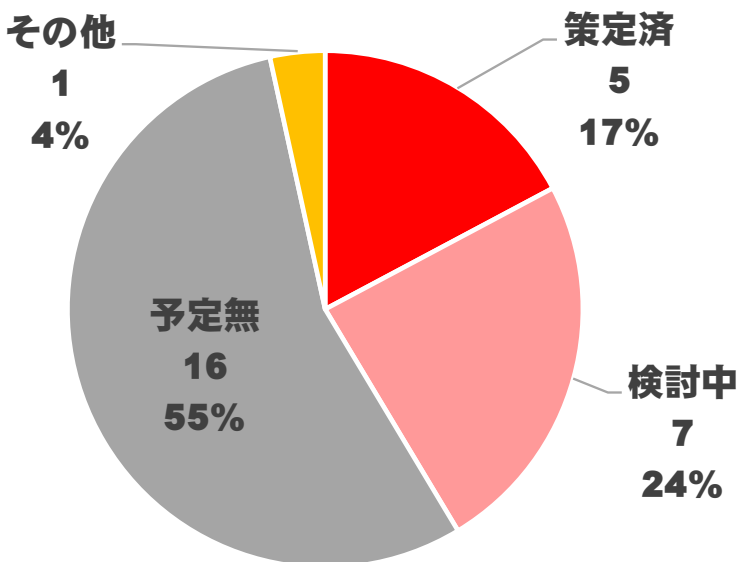
組合員 29 (26%)

25%がBCPを「策定済」(13%)、「検討中」(12%)と回答。



## ■ 組合の回答内訳 (n=84)

20%がBCPを「策定済」(12%)、「検討中」(8%)と回答。



## ■ 組合員の回答内訳 (n=29)

約40%がBCPを「策定済」(17%)、「検討中」(24%)と回答。



連携の絆を深め、輝く明日へ

北海道中小企業団体中央会  
Hokkaido Federation of Small Business Associations

# 具体的なヒアリング内容（抜粋）

## 策定済

- 昨年BCPを策定し、経産局のHPにも登録。その後は、特に何か進捗があるわけではない。
- ベースとなるような計画はすでに策定済み。更にレベルの高い計画にしていく予定は今のところ無い。特に訓練なども実施していない。
- 研修会後にBCPを策定して、現在2年目。毎年見直しもしている。
- 昨年度、ミラサポを活用し、赤羽先生の支援のもとBCP策定済。
- 経産局のHPには登録となっているが、内容がまだ完全に整備されていない状況。
- 北海道生コンクリート工業組合で、BCPのひな形（協同組合版・組合員企業版）を作成しており、それを参考に当組合でも作成した。ほとんどの各組合員企業でも、ひな形を参考に自社のBCP策定に取組み、策定を完了している。
- 地元商工会の支援を受け策定。

## 検討中

- 周辺の自治体の組合がBCPを策定している状況を踏まえ、先日の理事会で当組合でもBCPを策定していこうという話になった。まずは、組合としてのBCPの策定を考えており、その後に各組合員にもBCPを策定してもらおうといった流れを想定している。
- BCPを策定していくということで委員会で議論をし、理事会にも報告しているところ。まだ策定期等は未定。
- 当組合では、コンティンジェンシープラン（緊急時対応計画）については有しており、この内容のBCP計画への落とし込み等について検討。
- 胆振東部地震を受けて理事会でも有事の際の組織としての対応策が議題にあがっているが、具体的にマニュアルを策定するには至っていない。

## 予定無

- BCP策定の必要性については理解しているが、具体的な策定に当たっては、業務多忙や人員の不足により現在のところ予定はしていない。
- 組合自体としてはBCPはあまり関係がない。
- 機械設備などは無く、事務所だけであり、非常時にも連絡は出来ていることから、BCPを策定することまでは考えていない。
- 当組合では、市と防災協定を締結しており、万が一の災害の際の初動対応について策定している。そのため、BCPの策定の必要性までは感じていない。
- 業界全体としてBCPの必要性が認識されておらず、組合執行部も含めて策定に関する意義について理解されていない。
- 地方自治体との防災協定は交わしているがBCP策定には至っていない。
- 自社内で災害発生時の連絡網（連絡体制）を整えることはしたが、それ以上のことが出来ていない。

## その他

- 個人的には対応していかなくはと考えるはいるが、団地全体の規模を考えると、簡単に策定できるものではない。自家発電も必要など、設備投資のお金も莫大にかかる。何か専門家やコンサル会社に策定してもらえようような支援があればと思う（事務局で作成するのは難しい）。
- 計画は無いが、BCP対策は行っている。安否確認で言えば、人数が少ないのでLINEで行う事になっていたり、社屋が古く耐震診断で問題があったことから、秋に新社屋が出来る。また、5年前から社員全員に防災グッズを配布している。
- BCP計画の意義についてもう少し理解を深めなければ策定への動きには繋がらない。